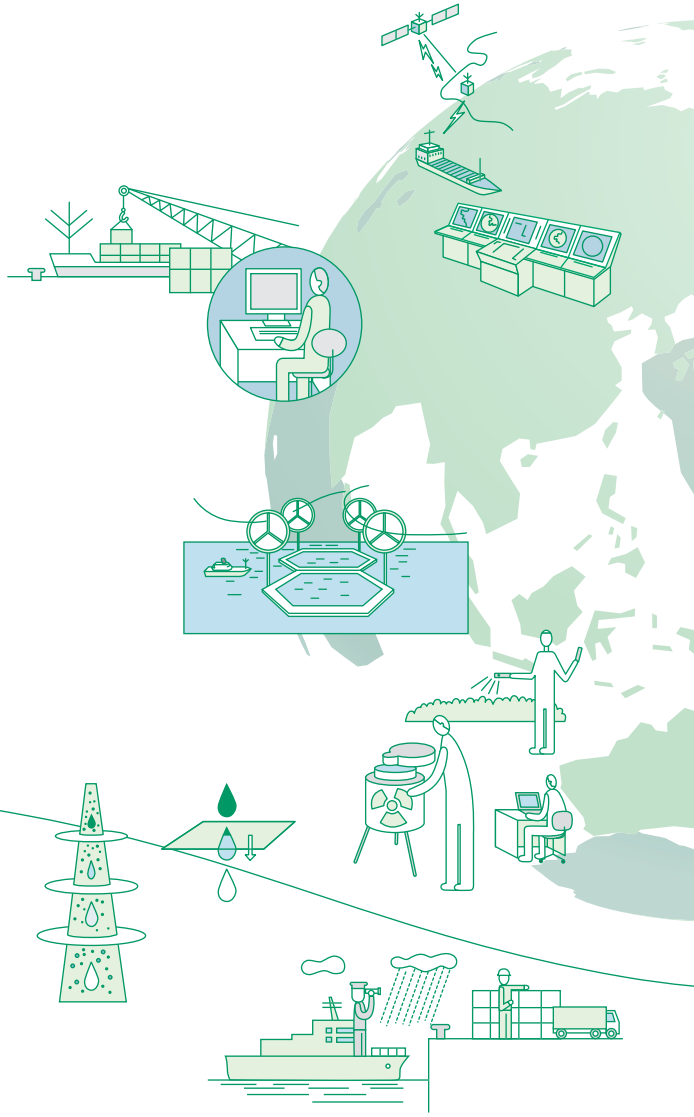
海洋に関する
あらゆる学問領域にアプローチし、
科学・技術を人の生活と
地球環境のために生かす

ヒト・モノ・情報が国境を越えて行き交うグローバリゼーション時代の今、エネルギーや環境に関わる地球規模での問題の解決が急務です。海に囲まれた海洋立国・日本が、生活の安全と環境保全という人類全体の課題解決に貢献し、自らの競争力を維持・強化するには、海洋の開発・活用・保全が不可欠です。海事科学部では、環境としての「Ocean=海洋」だけではなく、海洋を舞台にした人間活動、つまり「Maritime=海事」を対象とし、自然界におけるエネルギー・物質循環と資源や生産財のグローバルな輸送・物流について総合的に学びます。学際的な知識と専門的な問題解決能力＝研究能力を備えた人材を育てます。



■海事科学部の歴史

進取の精神と国際感覚を
備えた人材を育てる。
その伝統は、
受け継がれています。

神戸大学海事科学部のルーツは、1917年、川崎造船所の創立者川崎正蔵氏の遺志により、その子芳太郎氏が設立した私立川崎商船学校にまで遡ります。1920年、官立の神戸高等商船学校に昇格し、1952年、国立の神戸商船大学が設置されました。そして2003年に神戸大学と統合し、神戸大学海事科学部になりました。100年に渡る年月の中で受け継がれてきた伝統。それは、国際的に活躍する進取の精神です。経済のグローバル化と、地球規模の環境問題の深刻化が進む中、それらを両立させる持続可能社会の実現をめざし、本学部は2013年に新たな3学科に改組し、現在に至っています。